

4つの事例にみる「地域未来塾」 ～地域・学校の実態に応じた多様な学習支援～

事例③ 多摩市

中学生の多様な学びを実現する地域支援本部 ～未来塾「朝プロジェクト」～

多摩市教育委員会では、教育連携支援事業「地域未来塾」(以下「未来塾」という。)として、教育連携コーディネーターの協力を得た授業時間以外の補習を、小学校1校、中学校4校で試行し、来年度は全小中学校での実施を目指しています。

その一つ、多摩市立和田中学校 福田洋一校長、塩沢三男コーディネーター、松井徳孝PTA会長に伺いました。

多摩市立和田中学校

和田中未来塾「朝プロジェクト」
週2回 午前7時30分～午前8時10分
英語 全学年の希望者 英検の級別クラス

▶始める際に期待していたことは

福田校長 放課後等に開催して生徒の継続参加が可能か、また教員への新たな負担は避けたい。そこで始業前の朝、担い手を地域に求めて地域支援本部を立ち上げ、未来塾「朝プロジェクト」(以下「朝プロ」という。)を始めました。コーディネーター(以下「コ」という。)は、自治会長や民生児童委員などを歴任され、御自身英語も堪能な塩沢さんにお願ひしました。

▶参加者の募集方法は？

福田校長 日頃から生徒には自ら選び、進んで学んでほしい、と伝えていて、朝プロも全生徒に知らせ、希望する生徒の学びを支援しています。

▶学習方法の特徴は

塩沢コ 年3回の英語検定に向け、2・準2・3・4・5級のクラスを生徒が選んで参加します。

▶学習支援員は誰が担っていますか？

塩沢コ 私自身学生時代の英語サークルをはじめ、仕事などを通じて英語に慣れ親しんできました。これまでの経験と地域の人脉を活かして、主に団塊世代の海外在住経験者の方々に担ってもらっています。

▶実施しての成果は

松井PTA会長 朝プロに参加し、検定に合格との結果が出ています。何よりも子供たちが「英語が好きになった」と言っているのを知り、朝プロの意義を感じます。「英語を生かす進路を目指したい」と自信をつけている様子も分ります。

塩沢コ 協力していただいている地域の方々が、朝プロを通じて生き生きしています。

福田校長 朝プロのない日にも、生徒が自主的に学習する様子が見られるようになりました。生徒も、保護者も、地域も、みんなが喜んでいてます。



松井会長 福田校長 塩沢コーディネーター



地域の学習支援員と学ぶ中学生

事例④ 板橋区

中高校生の居場所型学習支援 ～中高生勉強会「学びiプレイス」～

板橋区教育委員会では、中高校生向けの居場所型学習支援として、今年度から区内5カ所でオープンした中高生勉強会「学びiプレイス」、その一つ、教育支援センター(毎週水曜日)を訪問し、担当の石山壮生学習推進係長、原澤陽子社会教育主事にお話を聞きました。

板橋区教育支援センター

毎週水曜日 午後6時～午後8時(会場により異なる。)
各自勉強したい教科
区内在住・在学の中高校生・高校生(相当年齢の方含む。)

▶始める際に期待していたことは

石山 前身は大原社会教育会館(現「まなぼーと大原」)が平成25年、成増社会教育会館(現「まなぼーと成増」)が翌年から開始した主催事業「中高生勉強会」でした。本年6月に、区内5カ所(火曜:まなぼーと大原、水曜:教育支援センター、高島平図書館、木曜:中央図書館、金曜:まなぼーと成増)に拡充しスタートしました。学生ボランティアの確保など、安定的な事業運営を期待し、学習支援を専門のNPOへ委託をしています。

原澤 学校や家庭とは違う環境で、自由に参加でき、同年代同士、近い世代の大学生との勉強やおしゃべりを通して、苦手科目の克服や進路について考えるきっかけなどを大切にしています。

▶参加者の募集方法は？

石山 まずは区内の中学校を通じてチラシを配布しました。
原澤 受付は当日で、曜日や会場を選んで参加できます。継続参加、複数会場への参加も可能です。部活帰りで遅れての参加や一度参加して次は友達を誘って参加など様々です。

▶学習支援員は誰が担っていますか？

石山 NPOがコーディネートし、事前の研修などを経た大学生・社会人のボランティアが担っています。

▶学習方法の特徴など

原澤 教材やノートを持参しての自習形式です。NPOのスタッフやボランティアが、個々の様子をみながら適宜アドバイスし、勉強の仕方などを含めて、本当に親身になって対応してくれています。

▶実施しての成果は

原澤 すぐに打ち解けて、楽しそうに学習し、続けて参加する様子を見ると、ここでの学習スタイルやこの場を居場所として気に入ってくれていると感じます。

石山 地域で社会性を育む一つの場として、定着することを願っています。



石山氏 原澤氏



自習する中高生とボランティアの様子